

国際公共政策研究科アドミッション・ポリシー

国際社会はいま、新たな秩序を模索しています。21世紀に入りグローバル化のさらなる深化や情報通信革命の飛躍的な進展は、われわれに新しい機会と可能性をもたらしました。しかし、その一方で、国家間の対立はもとより、紛争、人権侵害、テロリズム、大量破壊兵器の拡散、国家機能の破綻といった国際政治・安全保障にかかわる脅威は続き、また、気候変動、環境破壊、貧困、国際的な資本移動による市場の攪乱など、経済・社会分野における問題は深刻なものとなっています。こうした諸課題に効果的に対応するため、国際社会は英知を結集し、一丸となつてはたらく必要があります。

一方、今日の日本の政治システムや経済・社会システムにおいても、多くの課題が横たわっています。政治におけるアカウンタビリティの確保、長期不況の克服、産業構造の転換、少子高齢化対策、格差是正、男女共同参画の推進などに斬新な発想とリーダーシップが必要です。

OSIPP は、法学・政治学・経済学の学術的かつ実践的知識を総合し、現代の日本や国際社会が直面する公共的な政策課題に取り組んでいます。現実感覚に富み、体系的な分析・評価能力をそなえた、世界を舞台に活躍する公共政策プロフェッショナルの養成—これが OSIPP のミッションです。

<博士前期課程>

【求める人材像】

博士前期課程においては以下のような人材を求めている。

- 1 公共政策課題、たとえば、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの諸課題に関心を有する者
- 2 これらの公共政策課題を種々の観点から解明することを望む者
- 3 学習によって得た知識やものの考え方などを用いて、他者と積極的に議論をすることを希望する者
- 4 公共政策課題の解決に向けて指導性を発揮したいと考える者
- 5 外国語、特に英語に関心を有し、さらにこれに磨きをかけ、国際社会で自らの主張を積極的に発信したいと望んでいる者

【入学者選抜の基本方針】

以上のような人材を得るため、本研究科では、博士前期課程への入学のためには、英語能力試験、研究計画書に基づいた口述試験を課している。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

- 1 英語の能力については、TOEFL や TOEIC、IELTS などの評価の定まった試験で一定のスコアを得ていることを要求する。
- 2 研究計画書では、入学後に研究することを希望するテーマ、当該テーマを研究する背景にある問題意識、研究の方法論などが論理的・説得的に論じられていなければならない。
- 3 口述試験では、研究計画書に記された諸事項に関する能力が試されるとともに、自らの主

張を説得的に伝達し、審査委員との質疑応答に的確に回答することなどのコミュニケーション能力も試される。

4 修士論文などの論文については、複数の教員が専門的観点から評価を行う。

<博士後期課程>

【求める人材像】

博士後期課程においては以下のような人材を求めている。

- 1 公共政策課題、たとえば、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの諸課題に関心を有する者
- 2 これらの公共政策課題を種々の観点から解明することを望む者
- 3 学習によって得た知識やものの考え方などを用いて、他者と積極的に議論をすることを希望する者
- 4 公共政策課題の解決に向けて指導性を発揮したいと考える者
- 5 外国語、特に英語に関心を有し、さらにこれに磨きをかけ、国際社会で自らの主張を積極的に発信したいと望んでいる者
- 6 さらに、これらの公共政策課題における高度な専門性と分析能力を有し、研究者や実務家として活躍できる能力を有する者

【入学者選抜の基本方針】

以上のような人材を得るため、本研究科では、博士後期課程への入学のためには、英語能力試験及び修士論文などの論文の提出を要求し、研究計画書に基づいた口述試験を課している。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

- 1 英語の能力については、TOEFL や TOEIC、IELTS などの評価の定まった試験で一定のスコアを得ていることを要求する。
- 2 研究計画書では、入学後に研究することを希望するテーマ、当該テーマを研究する背景にある問題意識、研究の方法論などが論理的・説得的に論じられていなければならない。
- 3 口述試験では、研究計画書に記された諸事項に関する能力が試されるとともに、自らの主張を説得的に伝達し、審査委員との質疑応答に的確に回答することなどのコミュニケーション能力も試される。
- 4 修士論文などの論文については、複数の教員が専門的観点から評価を行う。